

経営教育学部 経営教育学科 式辞

芦屋大学の経営教育学科に入学された皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。

今年度は、定員の約3割を超えた125名を迎える事、大変喜んでおります。昨今の自粛ムードの事情を鑑みて、学科別に粛々と入学行事を行うことになりましたので、学部を代表しまして一言、祝辞を述べさせていただきます。

入学されたみなさんは、進学に向けてこれまで一生懸命に取り組んできたことと思います。その努力に対して敬意を表すると共に、暖かい愛情を持って皆さんを支えてこられたご家族の方々をはじめ、関係するすべての皆様に心よりお祝い申し上げます。

さて、大学への入学はゴールではなく、それぞれの将来像を持って学修に励み、専門分野を探究して社会へと羽ばたいていく、そのスタート地点です。単に知識を集積するだけではなく、その知識を得て、将来、何に活かしていくのか、皆さんの目標である“志”を改めて見つめ直して欲しいと思います。これから所属される経営教育学科は、大きく分けて4つのコースと8つの専攻で構成しています。経営ビジネス、観光・航空、自動車技術、教員養成、バレエコースなど、これらの学修によって、卒業後の進路も多方面に渡ります。言い換えれば、学科に所属する約100名のみなさんの職業や業種が多方面にわたります。是非、1年生の間に授業や休み時間を通じて、横のつながりを深めて下さい。4年間で培った、人と人とのネットワークが卒業された後、一生の宝物になります。

少し話が変わりますが、SDGsとは何かご存知でしょうか。Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。このため、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（統治）の3つのキーワードの頭文字をとったESGを重視した活動が社会の中で重要になってくると思われまます。

一方、政府は、「Society5.0を通じたSDGs」の達成を掲げています。我が国の目指すべき未来社会の姿として提唱されているSociety 5.0（超スマート社会）では、すべての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値が生み出されます。このように、新たな知識・情報・価値を生み出し、それらの変化に対応していくことがこれから求められていきます。このような近未来社会に求められることは、専門知識だけでなく、多様な分野を俯瞰する力を持った人材が求められ、自ら課題を発見し、解決していく能力が必要とされます。新たな社会に向けて、与えられる学びだけでなく、自ら進んで学ぶ姿勢を身につけていただき、皆さん一人ひとりが社会の担い手として積極的に活動していただきたいと願っております。

結びになりますが、皆さんが、清閑な芦屋六麓荘の地において、自然豊かな環境で、多様な文化や習慣を持つ様々な地域で育った仲間と交流し、充実した教育プログラムのもと積極的に種々の力を身につけ、世界で活躍する人材として巣立っていくことを祈念して、私の式辞といたします。

本日は、ご入学、誠におめでとうございます。

令和2（2020）年4月1日

芦屋大学 経営教育学部
学部長 藤本光司